

製品安全データシート

新規作成 : 2006年04月06日
改訂 : 2009年10月01日

1. 製品及び会社情報

製品名 : SDP- α OEL・ペン

製造者情報

会社名 : 三菱製紙株式会社

住所 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号

担当部門: 技術環境部

問い合わせ窓口: イメージング&ディベロップメントカンパニー

グラフィックシステム営業部 (電話番号: 03-3213-3743)

奨励用途及び使用上の制限 : シルバーデジプレート α Lタイプ用修正ペン

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない

健康に対する有害性: 皮膚腐食性/刺激性 区分3

皮膚感作性 区分1

特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 区分3 (気道刺激性)

特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) 区分2

(甲状腺)

環境に対する有害性: 水性環境有害性 (急性) 区分2

ラベル要素



感嘆符

健康有害性

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 気道への刺激のおそれ
アレルギー性皮膚反応を引き起こす恐れ
軽度の皮膚刺激
水性生物に毒性あり
長期または反復暴露による臓器のおそれ (甲状腺)

注意書き

環境への放出を避けること

換気の良いところで使用すること

蒸気/ミストの吸入をしないこと

不浸透性保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること

味見をしたり、飲んだりしないこと
 取扱い後は十分に洗浄すること
 誤って目や皮膚に付着した場合、直ちに流水で15分以上洗う。炎症が残っているようなら医師の診察を受けること
 処理薬品の使用方法に従って正しく使用すること
 強酸、アルカリ性物質と一緒にしないこと

組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

一般名 : 安定液

成分及び含有量

	官報公示整理番号	Cas No.	含有量%
ヨウ化カリウム	(1)-439	7681-11-0	10-20
ヨウ素	* 対象外	7553-56-2	5-10
DTPAアンモニウム鉄塩*	既存	85959-68-8	10-20
プロピレングリコール	(2)-234	57-55-6	30-40
水	対象外	7732-18-5	>20

*ヨウ素 安衛法57条の2 通知対象物質 施行令第18条 No. 606

*DTPAアンモニウム鉄塩 安衛法57条の2 通知対象物質 施行令第18条 No. 352
 (水溶性鉄塩)

4. 応急処置

吸入した場合 : 吸入の可能性は少ないが、大量のミストを吸入すると粘膜を刺激することがある。大量のミストを吸入した場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移動して下さい。炎症が残っているようでしたら医師の診察を受けて下さい。

皮膚に付着した場合 : 接触すると炎症を起こすことがある。直ちにきれいな流水で洗い流して下さい。

目に入った場合 : 直ちにきれいな流水で15分以上洗い、炎症が残っているようでしたら医師の診察を受けて下さい。
 洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄して下さい。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続けて下さい。

誤飲した場合 : 水でよく口の中を洗浄し、大量の水を飲ませて、直ちに医師の手当を受けて下さい。意識があっても無理に吐かせないようにして下さい。

5. 火災時の措置

消火剤 : 散水、ドライケミカル、炭酸ガス
 使ってはならない消火剤 : 特になし
 特定の消火方法 : 不燃性ですが、周辺火災の場合には移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移して下さい。

保護具等 : 消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用して下さい。
 加熱により成分が分解してSO_xガスが発生する場合があります。
 風上から消火活動を行って下さい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止して下さい。保護具（送気マスク、空気呼吸器、保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡、保護面、安全帽、長袖保護服、保護長靴など）を必ず着用して回収して下さい。風上で作業して下さい。多量の場合は、人を安全に避難させて下さい。

環境に対する注意事項：ごく少量の場合は、大量の水で洗い流して下さい。
漏出した液体や洗浄に使用した汚染水が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないよう注意して下さい。

除去方法：砂または不燃性吸収剤で吸収し、空容器に回収して下さい。
回収した液を廃棄する場合は関係法規に従って下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：目や皮膚に接触すると炎症を引き起こすことがありますので適当な保護具（保護眼鏡、保護手袋）を着用し取扱って下さい。

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、及び身体洗浄を行うための設備を設置して下さい。休憩場所には、手洗い、洗顔等の設備を設け、取扱い後には手、顔等をよく洗うようにして下さい。

局所排気・全体換気：密閉された装置、機器、または強制換気による換気を行って下さい。

注意事項：取扱いは十分な換気の下で行って下さい。

保管：キャップを確実に閉めて涼しい場所に置いて下さい。
強酸物質、アルカリ性物質と一緒に保管しないで下さい。
子供の手の届くところには置かないで下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：密閉された装置、機器、または局所排気装置を使用する

管理濃度 安衛法管理濃度：未設定。

許容濃度：日本産業衛生学会 ヨウ素 0.1ppm 1mg/m³

AGCIH/TWA DTPAアンモニウム鉄塩 1mg/m³ (as Fe)

ACGIH/STEL ヨウ素 0.1ppm

保護具：呼吸器

手 保護ゴム手袋

目 保護眼鏡

皮膚及び身体 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

形状：液体

色：無色透明～淡黄色

臭い：若干あり

pH (at25°C)：5.5 - 6.5

沸点：>100°C

融点：<-4°C

引火点：引火性なし

自然発火温度：データなし

燃焼または爆発範囲：データなし

蒸気密度：データなし

蒸気圧：水と同様

比重(at25°C)：1.0 - 1.1

オクタノール/水分配係数：データなし

溶解度：水に可溶

分解温度：データなし

1 0. 安定性及び反応性

安定性：通常の取扱い条件下では安定である。

反応性：強酸と混合すると有害な亜硫酸ガスが発生する懸念がある。

避けるべき条件：高温、低温（結晶析出）、直射日光、高熱

混触禁忌物質：強酸、アルカリ性物質

分解による有害性：加熱分解でSO_xガス、NO_xガスが発生する懸念がある。

1 1. 有害性情報

急性毒性LD50：実測値はないが、成分から推定した値では2000mg/Kg（ラット経口）以上。

皮膚腐食性・刺激性：アレルギー性皮膚反応を引き起こす恐れがある。

ヨウ素；具体的な症例はないが、産衛学会勧告(1993)の局所作用として皮膚の水ほうを起こすとの記述がある。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：

ヨウ素；具体的な症例はないが、産衛学会勧告(1993)の局所作用として結膜炎をおこすとの記述がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：

ヨウ素；皮膚 日本接触皮膚炎学会の皮膚感作性物質にリストアップされており、日本産業衛生学会許容濃度勧告には感作性物質：皮膚第2群に、また日本職業・環境アレルギー学会雑誌(2004)、ACGIH(7th, 2001)およびPATTY(4th, 1994)にそれぞれ別々の接触皮膚炎の症例報告がある。

生殖細胞変異原性：情報なし

発がん性：情報なし

生殖毒性：情報なし

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露：

ヨウ素；ACGIH(7th, 2001)、PATTY(4th, 1994)産衛学会勧告(1993)のヒトで蒸気や溶液のミストの吸入により気道刺激性が認められるとの記述がある。

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露：

ヨウ素；ATSDR(2004)のヒトで経口摂取により甲状腺の疾患（甲状腺機能低下、機能亢進または甲状腺炎）を起こすとの記述がある。

吸引性呼吸器有害性：情報なし

1 2. 環境影響情報

水性環境有害性：

ヨウ素；甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC50=0.16mg/L(ECETOC TR91、2003)。

残留性・分解性：データなし

生態蓄積性：データなし

1 3. 廃棄上の注意

水質汚濁防止法（生活環境項目）及び下水道法（下水の排除の制限）に該当しますので、河川、下水等にそのまま排出することはできません。

本製品を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「都道府県条例」に従い、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に、運搬、処理を委託して下さい。

汚染容器及び包材：内容物を完全に除去した後に処分して下さい。

1 4. 輸送上の注意

「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による
国連分類及び国連番号：該当しない。

1 5. 適用法令

安衛法：通知対象物質 No. 352 DTPAアンモニウム鉄塩(水溶性鉄塩)、 No. 606 ヨウ素
化管法：非該当
毒劇法：非該当
危規則：非該当
消防法：非該当
化審法（特定化学物質、指定化学物質）：非該当

1 6. その他の情報（引用文献等）

独立行政法人 製品評価基盤機構 「化学物質総合情報提供システム（CHRIP）」
「GHS分類対象物質一覧」

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理的及び化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の実用対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。